

令和3年11月22日

関係各位

京都市立堀川高等学校
校長 橋 詰 忍

京都市立堀川高等学校

第23回 教育研究大会のご案内（第二次）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また平素は本校教育活動に格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、来る12月17日（金）に本校におきまして、第23回教育研究大会を下記のとおり開催いたします。

本大会は、京都市立高等学校教育改革のパイロット校に指定された本校の教育活動を公開し、ご指導とご助言を仰ぐとともに、よりよい高等学校教育の実現に向けて活発な交流を行うために開催するものでございます。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、zoomを用いてのオンライン配信にて実施いたします。ご来校いただき様々なご意見を直接賜れないのは非常に残念でございますが、オンライン配信の長所を生かし、是非、遠方の地域の方々にも奮ってご参加をいただきたいと存じます。

ご多用のことと拝察いたしますが、多くの方々にご参加をいただき、ご指導を賜りたくご案内申し上げます。

記

研究大会テーマ

生徒自身が「問い」を見つける授業 ～学びの意欲と自己調整力を高めるために～

日程

令和3年12月17日（金）

8:45	9:30	10:20	10:40	11:30	11:45	12:35	14:00	16:00	16:15	17:00
受付	挨拶	全体会Ⅰ	(移動) 休憩	公開授業Ⅰ 研究授業Ⅰ	(移動) 休憩	研究授業Ⅱ	昼食・休憩	分科会	(移動) 休憩	全体会Ⅱ

挨拶（9：30～）

京都市教育委員会学校指導課高校教育担当課長

辰巳 敏秀 氏

京都市立堀川高等学校長

橋詰 忍

(1) 全体会Ⅰ（9：40～10：20）

主体的に学び続ける学習者の育成を目指して

本校では、最高目標である「自立する18歳」の一つの側面として、「主体的に学び続ける学習者」の育成に日々取り組んでいる。「主体的に学ぶ」ということは、与えられた課題に取り組むだけでなく、自分にとって興味ある問いや課題を見出し、答えを明らかにする方法を考え、実行していくことである。もちろんこれは簡単なことではなく、探究学習・教科学習の授業以外の教育活動も含めた3年間のカリキュラムを通じて、そのような学習に向かう態度や能力を養っていかなければならない。教科学習における主体的な学びについては研究授業と分科会で具体的に扱うが、ここではその他の教育活動で生徒の主体性を育てている取組について紹介する。

(2) 研究授業Ⅰ（10：40～11：30）

日本史B，物理研究Ⅰ，体育，コミュニケーション英語Ⅰ

(3) 公開授業Ⅰ（10：40～11：30） ※オンライン配信はありません。

国語総合，地理B，数学研究Ⅰ

(4) 研究授業Ⅱ (11:45～12:35)

現代文研究Ⅰ，数学ⅠA，体育

(5) 分科会 (14:00～16:00)

国語科，地理歴史・公民科，数学科，理科，保健体育科，英語科

(6) 全体会Ⅱ (16:15～17:00)

生徒の自己調整力の育成を見据えた新教育課程

本校では，生徒たちに，まず文理を問わず幅広い分野に興味をもち教養を身につけて欲しいと考えている。その中で，高い目標を設定し，自らにあった学び方を模索し，方針と計画を立て実行していくことができる生徒を育成したい。そのため，令和4年度から実施される新カリキュラムにおいては，生徒が課題を具体化する，実現方法を工夫する，評価する，批判的に考える，他者と協働する，といった「探究的な学び方」をより様々な場面で実践できる機会を設けたいと考えている。

特に，自分自身の教科学習の進め方について，課題を見だし，試行錯誤や他者との対話や協働を通してよりよい学びを実現していけるようにしていくため，次のような取組や仕掛けを準備している。まずは，1年次に学習の手法と生徒自身が学習の目標を立てそれを振り返るような活動や生徒同士で自身の学習に関して感じている問題意識と解決に向けたアイディアの交流を行い互いに学ぶ時間を教育課程表外におく（週当たり1時間）。ここでは，実際に学習方法を試行錯誤し，その効果の確認をするための課題に取り組み，改善するというプロセスを実践，習得する。

2年次にも，教科指導において，生徒の学び方について，目標と現状の違いを分析し課題を把握しようとする姿勢や，振り返りから計画を修正しようとする姿勢の見取りや評価を行う。なお，これらは観点別学習状況の「主体的に学習に取り組む態度」の評価として行う予定である。

これらの取組や仕掛けにより，生徒たちが自らの学習を計画できるようになることで，教科学習とともに，生徒自身の興味も深まり，探究活動への意欲も増すものと期待している。そのような生徒たちが探究活動や教科学習を探究的に進めていけるよう，3年次には，生徒が自身の目標に応じた多様な学びを深める機会を選択し，実践できる機会を増やすため，週当たりの授業時間数を30時間とする（令和3年度までは週35時間）。

*なお，全体会Ⅱでは，上記のような本校の令和4年度教育課程のねらいをお伝えするだけでなく，参加してくださった先生方が勤務されている学校の令和4年度の教育課程をご紹介いただき，議論を深めたいと考えています。話題提供をいただける方は，参加申込フォームにご記入くださいますようお願いいたします。

会 場

京都市立堀川高等学校

〒604-8254 京都市中京区東堀川通錦小路上る四坊堀川町 622-2

研 究 授 業

研究授業Ⅰ（10：40～11：30）

授業名	授業内容		授業者 担当クラス 場所
日本史B	タイトル	江戸時代の展望	竹内 嶺 2年1・2組 (普通科) 演習室1・2
	概要	江戸時代の民衆支配の特徴を示す二つの史料の読み取りを通して、江戸時代の民衆支配についての仮説を表現する。	
	ねらい	史料の読み取り、比較から歴史資料の特質を理解し、そこで得た論拠をもとに仮説を表現することを通して、江戸時代の学習への見通しをもたせる。	
物理研究Ⅰ	タイトル	慣性力についての理解度確認	清水 恵吾 2年3・4組 (自然探究科) S-304
	概要	回転円板上にいる観測者が、円板上で位置を変えた物体の観察を通じて慣性力について深く考える。	
	ねらい	慣性力についての理解度を、観察結果を説明しようとすることによって確認する。加えて、知識を活用して自然現象を説明しようとする態度を養う。	
体育	タイトル	球技 ゴール型 サッカー	森口 勇 1年6組 (自然探究科) アリーナ
	概要	ボール操作における自らの課題を見つけ、その改善策について考える。	
	ねらい	サッカーにおけるボール操作の習得に向けた自らの課題を設定し、グループでの教え合いなどを通して、自らにあった改善策を考え導き出させる。また、それらを行うことによって技能の向上と学びに向かう力を養う。	
コミュニケーション 英語Ⅰ	タイトル	ELEMENT English CommunicationⅠ Lesson 6 The Story of PlayPumps	山本 宣生 1年5組 (探究科) S-405
	概要	既習単元に関連した対話を通じて読解内容についてさらに理解を深め、課題解決する活動を行う。	
	ねらい	既習単元の内容について、双方の意向が食い違う葛藤場面を設定し、論点を明確にした対話を行いながら課題解決する能力を育成する。	

研究授業Ⅱ（11：45～12：35）

授業名	授業内容		授業者 担当クラス 場所
現代文研究Ⅰ	タイトル	志賀直哉「城の崎にて」	若林 武史 2年3・5組 (人間探究科) S-305
	概要	学習者自身が立てた「問い」を育てる授業	
	ねらい	学習者自身で考えた「よい問い」の模索を通して、小説教材の読みをより深く豊かなものにすることをめあてとする。	
数学ⅠA	タイトル	図形と方程式「領域における最大・最小」	紀平 武宏 1年4組 (探究科) ラーニング コモンズ (図書館 2F)
	概要	次の問いにつながる問題設定	
	ねらい	生徒自ら考えた疑問に基づいて問いを発展させ、その解決に向かう中で数学的な見方・考え方を深めるとともに、日々の活動においても疑問をもつ視点を養う。	
体育	タイトル	球技 ゴール型 サッカー	森口 勇 1年6組 (自然探究科) アリーナ
	概要	ボール操作における自らの課題を見つけ、その改善策について考える。	
	ねらい	サッカーにおけるボール操作の習得に向けた自らの課題を設定し、グループでの教え合いなどを通して、自らにあった改善策を考え導き出させる。また、それらを行うことによって技能の向上と学びに向かう力を養う。	

公開授業

公開授業Ⅰ（10：40～11：30） ※オンライン配信はありません。

国語総合，地理B，数学研究Ⅰ

分科会

分科会（14：00～16：00）

分科会	国語科	地理歴史・ 公民科	数学科	理科	保健体育科	英語科
会場	演習室7・8	演習室1・2	ラーニング コモンズ (図書館 2F)	物理地学教室	自然科学教室	授業研究室

分科会	国語科	テーマ	問いを育てる
<p>研究授業では小説教材をもとに，学習者自らが「問い」を立て，その「問い」のよさ・確かさを検討する過程で自らの読みを豊かにし深めることをめあてとする。</p> <p>研究協議では，国語（特に小説）の学習において，学習者の立てた「問い」を最後まで見届け，学習者自身が「問い」を自己あるいは相互評価することで得られる学びについて意見交流を図りたい。</p>			
発表	若林 武史	司会	中川 愛
		記録	赤間 愛
助言者	京都市教育委員会指導部学校指導課指導主事 加藤 健 氏		

分科会	地理歴史・公民科	テーマ	単元で考える資質・能力の育成
<p>分科会では，まず今回の研究授業におけるねらいや評価基準を中心に研究協議を行う。</p> <p>その後，研究授業を踏まえつつ，「思考・判断・表現」及び「主体性」の評価の見取りや新カリキュラムを見据えた年間・単元指導計画について双方向の意見交換を実施したい。</p>			
発表	竹内 嶺	司会	菅谷 尚平
		記録	前田 光能
助言者	京都市教育委員会指導部学校指導課指導主事 滝本 順之 氏		

分科会	数学科	テーマ	次の問いにつながる問題設定
<p>分科会では，研究授業のねらいが効果的に作用したかについて議論する。</p> <p>続いて，日ごろの授業における問題設定について意見交換をしたい。</p>			
発表	紀平 武宏	司会	田島 智博
		記録	續木 俊哉
助言者	熊本大学大学院教育学研究科准教授 吉井 貴寿 氏 京都市教育委員会指導部学校指導課指導主事 岡本 弘嗣 氏		

分科会	理科	テーマ	気づきを促す多面的な視点
<p>研究授業では、既習の知識を用いて自然現象を説明することを試みる中で、生徒自身が理解の不十分さを認識したり、理解を深めたりすることをねらった。加えて、高校物理が複雑な現象を理想化した前提の上に成り立っていることを意識しながら、高校物理で習得した知識を活用して身近な自然現象を説明しようとする態度を養いたいと考えた。</p> <p>分科会では、まず、研究授業のねらいが効果的に作用したかについて議論する。続いて、生徒が自然現象から問いを見出すための仕掛けや適切な題材（現象）について考えたい。</p>			
発表	清水 恵吾	司会	阿部 博之
		記録	山崎 宗彦
助言者	京都市教育委員会指導部学校指導課指導主事 宮越 敬記 氏		

分科会	保健体育科	テーマ	新学習指導要領における体育の指導と評価の一体化について
<p>研究授業では、体育における自らの問いを見つけるための道筋を示し、それらを意識して主体的に課題解決していくことで、技能の向上と学びに向かう力を養うことを目的として実施した。</p> <p>分科会では、新学習指導要領における指導と評価について、今回の研究授業での評価方法等と照らし合わせながら議論し、指導と評価の一体化に即した授業形態や教材、適切な声かけ等を考えていく。</p>			
発表	森口 勇	司会	木村 彰吾
		記録	今井 拳也
助言者	京都市教育委員会体育健康教育室副主任指導主事 松林 拓 氏		

分科会	英語科	テーマ	パフォーマンス課題の実施と評価について
<p>前半は、研究授業についての研究協議を行う。</p> <p>後半は、研究授業に関連して、4技能5領域における Speaking の Presentation と Interaction について、これまで本校で行ってきた授業内の取り組みやパフォーマンステストの成果や課題点についてまとめた上で、次年度からの新カリキュラムに向けた現段階の構想について発表する。</p>			
発表	西川 光	司会	松尾 和哉
		記録	谷利 淳
助言者	京都市教育委員会指導部学校指導課指導主事 田中 佑明 氏		

お 申 し 込 み 方 法

参加費・資料の配布について

- (1) 参 加 費： 無料
資 料： 参加者には、12 月 13 日（月）にパスワード付きの PDF ファイルで、
本校 web サイトに公開いたします。
- (2) 参加対象： 学校関係者，教育関係者
- (3) 申込方法・申込期間：

令和 3 年 11 月 22 日（月）～12 月 6 日（月）17 時

検索サイトから、堀川高校 研究大会 2021 で検索し、
本校 web サイトをご確認のうえ、お申込みください。
(右の QR コードからお申し込みしていただくことも可能です。)



参加者へのzoomミーティング

IDならびにパスコードの配布

参加者の方々には12月13日（月）に、本校 web サイトにおいて、zoom ミーティング ID ならびにパスコード等を記載した、パスワード付きの PDF ファイルを掲載いたします。また、別途メールにてもお知らせいたします。

＜本研究大会のお問い合わせ先＞

京都市立堀川高等学校 研究部（担当：達，関目）

メール：kenkyu2021info@horikawa.ed.jp

電 話：075-211-5351

以上